

調査事例：管理区分と分布区分〔鉛作業〕

環境・健康

当社が測定した鉛作業での作業環境測定の管理区分と血中鉛の分布区分を対比した事例を下記に示しました。作業者個人の比較ではありませんが、集団としてみた場合、作業環境（作業場の気中鉛濃度）の管理状況を示す「管理区分」と、鉛の体内ばく露の程度を示す「分布区分」との間で関連性が認められます。

作業環境測定結果は、有用なばく露の情報となりますが、作業環境測定ではフォローできないばく露もあり、より確かなばく露の情報を得るには生物学的モニタリング、個人ばく露モニタリングなどにより補完する必要があります。

管理区分と分布区分の対比〔鉛作業〕

			A事業所	B事業所	12事業所
鉛作業			粉状鉛化合物 取り扱い	ろう付け (鉛含有)	ハンダ付け (鉛ハンダ)
作業環境	管理区分〔1〕	A測定	4作業場	9作業場	対応する事業所での測定結果はないが、同作業での管理区分はすべて〔1〕
		B測定	3作業場	15作業場	
	管理区分〔2〕	A測定	5作業場	6作業場	
		B測定	2作業場	1作業場	
	管理区分〔3〕	A測定	2作業場	0作業場	
		B測定	6作業場	0作業場	
血中鉛	分布区分〔1〕		0名	41名	61名
	分布区分〔2〕		11名	13名	0名
	分布区分〔3〕		5名	0名	0名

kes サポート

課 題	kes サポート
有害物質の体内ばく露状況の調査	生物学的モニタリング
有害物質の体外ばく露状況の調査	個人ばく露モニタリング
有害物質の体外ばく露の情報	作業環境測定
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施